



熊野町立熊野第一小学校
令和 3年 3月 22日
校長 平岡 弘資

1年間ありがとうございました。 子供たちのさらなる成長を期待して「今の自分から！」

今年は全国で一番早く、広島の桜が開花したということです。熊野町でも梅が満開、校長室の前にある桜もつぼみが膨らみ始めています。春はそこまでやっています。

今年度はコロナ禍により、学校は様々な影響を受けました。一番大きく影響したのが感染拡大防止対策のため、様々な行事や取組が中止や延期になったことです。本来であれば、行事等を通して達成感をもったり、感性を身に付けたりと子供たちの成長に必要なことが詰まった取組ができなかったこと。このことは、我々教職員、子供たちだけでなく、保護者の皆さんにとっても子供たちの活躍の場を見ることができず、残念な思いをもたれたことと思います。申し訳ありませんでした。来年度もすぐに状況が変わるとは思われません。感染対策をしながら、できることを工夫しながら取り組んでいこうと思います。

そうした中、先日は6年生を送る会が行われました。例年は全校児童で開催される会ですが、できることを工夫しながら、1組集団、2組集団、3組集団と3つに分かれ時間帯を変えて実施しました。これはこれで、普段の縦割り班がうまく活用されて、雰囲気の良い感動的な会となりました。

1年生と手をつないで入場する6年生の嬉しそうで、照れくさそうで、優しそうで、とても良い顔です。縦割り班では、下級生からメダルや寄せ書きをもらう6年生。もらう方も渡す方も輝いた顔をしています。やっぱりこういう活動は学校ならではのものです。来年度はこういう活動がもっともっとできれば良いと痛感しました。

6年生はもらった寄せ書きを、あまりにも一生懸命に、嬉しそうに読んでいたので横から少し読ませてもらいました。少し紹介します。

「そつぎょうおめでとう！〇〇さんとおにごっこをしたのがおもしろかったよ。」
「ぼくたちをひっぱっていってくれてありがとう。ぼくも低学年をひっぱれるようがんばる。」
「あなたがやさしかったので、班もやさしくなれました。」
「みんながふざけている時に笑いながらも冷静につっこんだりしてすごくおもしろかった。」
「いつも掃除にきてくれてありがとう。」
「中学校に行っても勉強がんばってね。さみしくなるけどずっとずっと友達でいようね。」



読んでいるだけで、こちらの心も熱くなりました。6年生ありがとう！

明日は卒業式です。式の前には、6年生が学校中のクラスの前を歩いてくれます。1年生から5年生までみんなで教室から6年生の門出をお祝いしたいと思います。

6年生のこれからのさらなる成長を、そして在校生のこれからのさらなる成長を期待します。

合い言葉は「今の自分から！」

学校生活の様子

＜6年生を送る会＞ 1組グループ・2組グループ・3組グループに分かれて行いました。



5年生の計画委員会が中心となって進め、○×クイズをしたり、歌を歌ったりして楽しい会となりました。縦割り班の下学年からプレゼントをもらった6年生は、とてもうれしそうでした。

さすが6年生！カ仕事を手際よく終わらせてくれました。ありがとうございました。

＜6年生奉仕作業＞ 6年生が学校のために奉仕作業をしました。



1組：書道教室整備



2組：グラウンド整備



3組：古いオルガン運搬

6年間皆勤賞 おめでとう

内山 愛梨	林 真矢
安宗 栞那	小林 桐真
大田 由奈	中井 穂乃華
安井 栞	

この7人の6年生は、6年間、インフルエンザや忌引きなどの特別欠席をのぞいて、雨の日も暑い日も風の日も雪の日も1日も休まず出席しました。ここまで頑張った6人に、6年間皆勤賞を送ります。



皆勤賞表彰式